

## 地球環境京都会議2017

## 環境と調和 持続可能な都市へ

地球温暖化防止のための数値目標などを定めた京都議定書の議決から20年を迎えたのを記念し、会議の舞台となった京都市左京区の国立京都国際会館で10日、「地球環境京都会議2017」が開かれる。市主催で「環境と調和した持続可能な都市文明の構築へ」をテーマに、あるべき都市像を話し合う。

【篠田直哉】

## 京都議定書 議決20年

午前10時から全体会議があり、基調講演として、国際応用システム分析研究所のネボイシア・ナキチエノビツ

チ副所長が「持続可能な未来に向けての大転換—2050年とそれ以降についての展望」、加藤尚武京都大名誉教

授が「私たちの中にい

## 10日 京都国際会館で

ネボイシア・  
ナキチエノビツ氏



国立京都国際会館ルームDでは10日、「地球未来シンポジウム2017希望の探求」も同時開催される。文化・哲学・テクノロジー・事業構想をキーワードに、50年後の日本と世界の姿を考える。

「遙かなる地球の未来を描けるか？」をテーマに、熊野英介アマタホールディングス会長がオープニングトークに立つ。続いて、公文俊平日本未来学会会長らが「文明が転換する

## 地球未来シンポ 同時開催

大きな音が聞こえるか？」を巡って話し合う。

また、能楽師の安田登さんや熊野会長らがAI（人工知能）などの技術革新と未来について語り合う「テクノロジーは真の幸福をもたらすか？」や、「未来開拓者が震わす時代の鼓動を感じるか？」「事業家は未来を形にできるのか？」の計4セッションの討論がある。参加無料。座席受け付けは終了し、立ち見席のみ。詳しくは問い合わせ窓口（075・277・0796）。

## 50年後の日本と世界の姿を考える



加藤尚武氏



安成哲三氏

る生き物、私たちをと  
りかこむ生き物—』動  
植絵』から『鳥獸  
をテーマに語る。  
午後は3分科会で議

「戯画」へさかのぼる」

論する。テーマは、分  
科会①が「都市間連携  
により促進する地球温  
暖化対策」。昨年新た  
な温暖化防止を巡るパ  
リ協定が採択されたの  
を受け、パリ市と京都  
市や米国、アジア各国  
の自治体からの代表が

参加して話し合う。分  
科会②は「低炭素型都  
市のデザイン」、分科  
会③は「環境と調和し  
た持続可能な都市文明  
の構築へ」。

最後に全体会議があ  
り、安成哲三総合地球  
科学研究所長が「未来  
可能な地球社会に向け  
て—地球と地域をつな  
ぐFuture Earth  
の取組」と題して基調  
講演。京都宣言(仮称)  
を発表する。参加無料。  
詳しくは地球環境京  
都会議2017運営事  
務局(075・231  
・6057)。京都議  
定書は「気候変動枠組  
条約」に基づき199  
7年12月に同会館で開  
かれた第3回締結国会  
議(COP3、地球温  
暖化防止京都会議)で  
議決された。

※【訂正】環境学